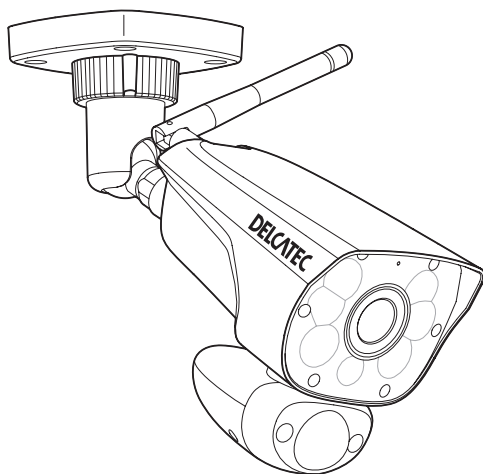


録画機能一体型ワイヤレスカメラ

Full Hi-Vision

CWE1CBD1

保証書付



はじめに

準備

設置

その他

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使い
ください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

本製品は、スマートフォンまたはタブレットを使用することで、カメラの映像を確認することができます。本製品をはじめて利用するときは、2.4GHz帯の無線LANルーターへの接続が必要となります。

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のお願い	9
必ずお読みください	9
使用上のご注意	9
設置のご注意	10
防水性能について	10
動体検知について	10
無線電波についてのご注意	11
録画について	12
商標について	12
セット内容	13
各部の名称	14
カメラ	14

準備

カメラを準備する	15
カメラの映像を確認する	17
インターネット回線に接続する ...	18
専用アプリ MiSmart Cam を インストールする	19
ライブビュー画面	28

設置












設置する前に	30
カメラ設置の注意点	30
電波到達距離について	30
人感センサーについて	31
カメラ設置の確認事項	35
カメラを設置する	36
カメラの寸法を確認して設置場所 を決める	36
カメラを設置する	37

その他

故障と判断する前に	42
メンテナンス、別売品	45
お手入れおよびメンテナンス時の ご注意	45
仕様	45
無線通信部	45
カメラ	46
スマートフォン / タブレット用 アプリケーション	46
外形寸法図	47
保証書	48

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 危険	この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性が想定される内容を示しています。		
 警告	この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		
 注意	この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		
 一般的な注意事項	 水ぬれ禁止	 接触禁止	 指示を守る
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 プラグを抜く

警告



指定の電源で使用する

- 必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。他の機器の AC アダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- 付属の専用 AC アダプターは AC100V (50/60Hz) コンセントを使用する。100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。




ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない


ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っぱるなどをしない


電源コードなどが傷んだとき（心線の露出、断線など）は、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。



警告


 通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない

火災や感電の原因となります。


 結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。


 めれた手でさわらない
感電の原因となります。


 雷が鳴り出したら本体やコードに触れない
感電の原因となります。


 分解、改造、修理はしない
また、ライト部に可燃性のフードや囲いなどをつけない
感電・火災・故障の原因となります。


故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

 点灯しているライトを直接見ない
視力障害の原因となります。

 ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間は、絶対に素手で触れない
ライト部は熱くなっていますので、やけどの原因となります。

 スピーカーを耳にあてない
難聴などの原因となります。

 お手入れは、ACアダプターをコンセントから抜き、ライトの温度が十分下がったあとで行う
感電ややけどの原因となります。

 異常があるときは、すぐに使用を中止する

次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

- 煙がでる、変な臭いがする
- 内部に水や昆虫、物が入った
- 異音が鳴る
- ACアダプターのコードや本体の外部が破損、劣化している

火災、感電、けが、故障の原因となります。

警告



長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプターをACコンセントから抜く

火災の原因となります。



ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しない
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする



ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしない。また、ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない

水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物がACアダプターの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。



ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差し込む

すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。



万一、ACアダプターを落したり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。



本製品を移動する場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜く
コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。



本製品にホースなどで直接水をかけない
火災や感電の原因となります。


警告


雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜く

落雷によって、火災の原因となることがあります。



電源 (AC100V) を入れたまま配線工事をしない

火災や感電の原因となります。



雷のときは配線工事をしない

感電の原因となります。



次の場所に設置しない

・強度の不足する場所、不安定な場所

落下や転倒によるけがの原因となります。

・継続的に振動が発生する場所 (工事現場など)

落下や転倒によるけがの原因となります。

・人や車両の通行の妨げになる場所

ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。

・直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所

火災や感電、故障の原因となります。

・浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所

湿気や湯気による故障の原因となります。

・塩害や腐食性ガスが発生する場所

取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。

・可燃性ガスが発生している場所

爆発によるけがの原因となります。

・可燃物のそば

・わらぶき屋根の軒下

・ベランダなど、洗濯物や布団などがカメラに触れる場所

・風により可燃物が飛んできてカメラを覆う恐れのある場所

火災の原因となります。



設置、点検時は次のことに注意する

・設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。

感電やショート・誤配線による火災の原因となります。

・足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。

落下や転倒によるけがの原因となります。

・本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

けがや故障の原因となります。

警告

- ケーブル類は正しく配置する。引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。落下によるけがの原因となります。
- 台風のとことや積雪のあとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。
点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- 取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。
落下による破損、けがの原因となります。



電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する
電気工事士の資格がない場合、電気工事をする場合は、法律で禁止されています。



次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない。

- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室など）
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置

誤動作による事故の原因となります。



本製品を壁面に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付け

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニア板など）には取り付けないでください。落下により、けがの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない
乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない
絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。


警告

! 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする

感電の原因となることがあります。

! 取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確かめる

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

! 屋外コンセントは、防水ケースを使用する

AC アダプターは防水仕様ではありません。漏電や感電の原因となります。

! コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。


注意

! 距離が離れている場合、通信距離範囲内でも間に次の障害物が存在する場合など、環境によって電波が弱くなりブツブツ音や通話の途切れが発生する

- 障害物
 - 金属製のドアや雨戸
 - 複層ガラスの窓
 - アルミ箔入りの断熱材が入った壁
 - 壁を何枚も隔てたところ
 - コンクリートやトタン製の壁
- 環境
 - テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合

- テレビ、ラジオ、ルーター、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所
- カメラ、スマートフォンまたはタブレットをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき

! **お手入れの注意**
ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。

! **定期的に点検する**
取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず仮固定をして動作確認を行ってください。設置場所近くの環境でも専用アプリを使用してスマートフォンやタブレットでカメラの映像が表示されることを確認してください。(➡ 17 ページ)

重要

設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、内蔵ストレージにカメラの映像を録画します。
- 周囲温度 0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭取ってください。
- 専用アプリを使用してスマートフォンやタブレットで映像を見るときは、通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- 専用アプリをテザリングで使用するときには、デバイスを登録するときのみ使用することができます。安定した通信を必要とするライブビュー映像で使用するときには、動作保証はできませんので、あらかじめご了承ください。
- Android、iOS、iPadOS 端末以外の携帯電話や端末では使用できません。

設置のご注意

- 本製品をセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- 本製品のそばに電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）がないことを確認してください。

防水性能について

- 本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP66（耐塵・耐水性）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。
- カメラのスピーカーや、マイク孔に雨水が入ると、一時的に通話ができなくなる場合がありますが、故障ではありません。雨水が排出すると通常に通話ができます。
- 本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラやセンサー部などの内部が結露する場合があります。しばらくすると解消し、品質には影響ございません。

動体検知について

詳細は、「人感センサーについて」（→ 31 ページ）を参照してください。

次の場合は、動体（人や動物）がいなくても検知する、または動体（人や動物）がいても検知しないことがあります。故障ではありません。

動体（人や動物）がいなくても検知する

- カメラの前に動くものがある
- エアコンの風が直接当たる
- カーテン、炊飯器や電気ポットなどの蒸気を検知している
- 直射日光などの強い光が当たる
- 不安定な場所に設置している

動体（人や動物）がいても検知しない

- カメラの前に障害物がある
- カメラの周囲温度が高い



人感センサーの特性

人感センサーを横切る動きは検知しやすく、センサーの真下を通る動きや正面から近づく動きは検知しにくくなります。

無線電波についてのご注意

本製品の電波周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯は、医療機器・電子レンジなどの産業・科学機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機器など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を停止してください。



本製品の無線の電波について

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を示します。
- DS/OF : 変調方式が DS-SS と OFDM 方式であることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を示します。
- — — : 使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを示します。

- 本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。また、本製品に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざんなどは行わないでください。

不明点やその他お困りのときは、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵ストレージに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本製品の内蔵ストレージは消耗品です。

破損した場合はお客様で交換はできませんので、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに修理を依頼してください。

最大録画時間	約 288 時間 (常時録画) ※ 1 ※ 2
--------	-------------------------

※ 1 : 288 時間以降は上書き録画されます

※ 2 : 288 時間は目安であり、使用環境によって異なります

●録画方法

録画方法には、以下の3つのモードがあります。

- ・ イベントモード
- ・ スケジュールモード
- ・ 連続モード

詳しい操作については、専用アプリの取扱説明書をご確認ください。



商標について

・ iPhone、iPad、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。

・ Google および Google ロゴ、Android、アンドロイド、Google Play は、Google LLC の商標です。

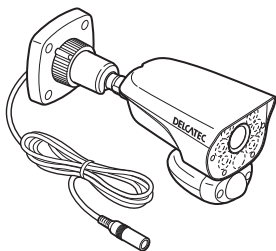
・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

・ その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

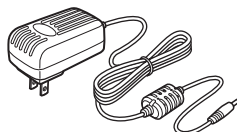
セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

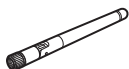
重要 必ず付属の AC アダプターを使用してください。



カメラ：1台
コード長約 2.0m



カメラ用 AC アダプター：1個
コード長約 1.8m
型番：CS18D090200FJF



アンテナ：1本



コンクリートアンカー：4本



カメラ取付用ネジ：4本

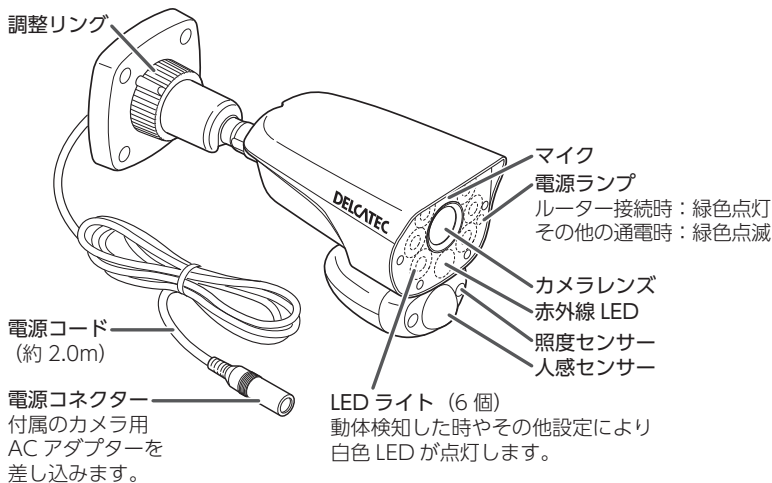


取扱説明書：1冊

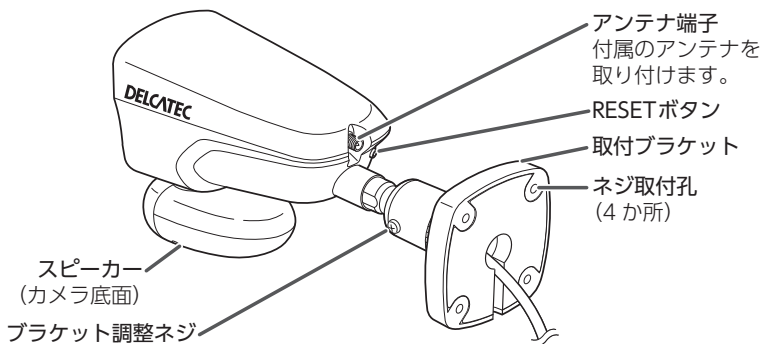
各部の名称

カメラ

●正面



●背面



カメラを準備する

⚠ 注意



必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

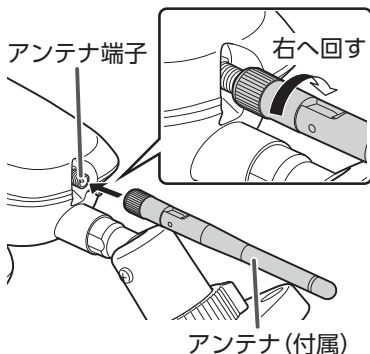
他の機器の AC アダプターを使用すると、故障や感電などの原因となります。

重要

- AC アダプターは防水 (防滴) 仕様ではありません。水に濡れない場所で使用してください。
- カメラの電源コネクタは防水 (防滴) 仕様ではありません。コネクタ部が屋外になる場合は、必ず市販の自己融着テープなどを使用し、防水処理を施してください。
- AC アダプターは必ず奥まで確実に差し込んでください。

1 カメラ背面のアンテナ端子に 付属のアンテナを取り付ける

アンテナ端子に付属のアンテナを差し込み、右に回します。

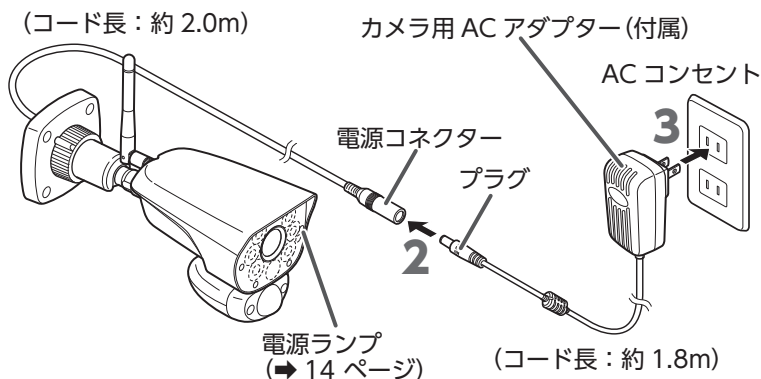


重要

- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- アンテナを取り付けていないと、スマートフォンやタブレットで映像を見ることができません。
- アンテナ端子にしっかりと締め付けてください。
- スパナなどの工具を使用して締め付けしないでください。

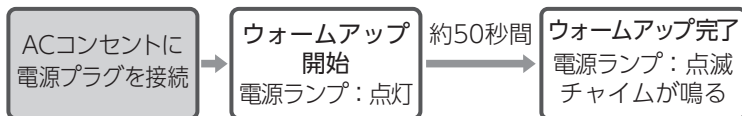
2 カメラの電源コネクターに付属のカメラ用 AC アダプターのプラグを差し込む

3 AC コンセントにカメラ用 AC アダプターを差し込む



電源を接続すると、電源ランプが緑色に点灯します。その間はウォームアップ動作となります。

ウォームアップ完了後(約 50 秒)、電源ランプが点滅を開始し、チャイムが鳴ります。



デバイスの追加がされていない場合 (出荷時設定)

電源ランプ：点滅
17秒ごとにアラーム音

電源ランプが緑色に点滅し、17 秒ごとにアラーム音(プップ)が鳴り、デバイスの登録モードになります。

デバイスの追加がされている場合

電源ランプ：点灯

電源ランプが緑色に点灯し、検知エリア内の人を検知可能な状態になります。



カメラを初期化するときは、背面にある RESET ボタンを 5 秒以上押ししてください。

カメラの映像を確認する

本製品をインターネットに接続し、専用アプリ MiSmart Cam をインストールしたスマートフォンやタブレットからカメラの映像を見ることができます。設置する前に、スマートフォンやタブレットにカメラの映像が映ることを確認してください。

専用アプリ MiSmart Cam を利用することで、以下のステーションモードとダイレクトモードの切り替えができます。

専用アプリ MiSmart Cam の取扱説明書をご確認ください。
(下記の QR コードまたは URL より取扱説明書を確認してください)



<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/MiSmartCam.pdf>

ステーションモード (初期設定)

無線 LAN を経由し遠隔地からカメラに接続するモードです。初回接続時にお持ちの 2.4GHz 帯の無線ルーターへ登録をお願いします。

本製品を無線 LAN に接続しておくことで、外出先などの遠隔地から映像を確認したり、ライトの点灯、消灯を行うことができます。操作は専用のアプリ MiSmart Cam をインストールして行います。

(はじめて本製品を使用するときは、このモードで無線 LAN に接続してください。)

ダイレクトモード

本製品とスマートフォンを 1 対 1 で接続するモードです。無線 LAN 接続ができるインターネット環境がなくても利用可能です。※遠隔地から本機の操作をすることはできません。



時刻機能について

- ・ステーションモードでは、定期的にインターネット上のタイムサーバーと自動同期を実施するので、時間がずれることはありません。
- ・ダイレクトモードでは、自動で時刻の取得をしなため時間がずれず、専用アプリ MiSmart Cam へ接続したときに、スマートフォンまたはタブレットの時刻を自動で取得するので、定期的に専用アプリへ接続してください。時間がずれると、録画の開始や終了時刻が実際の時間とずれず。

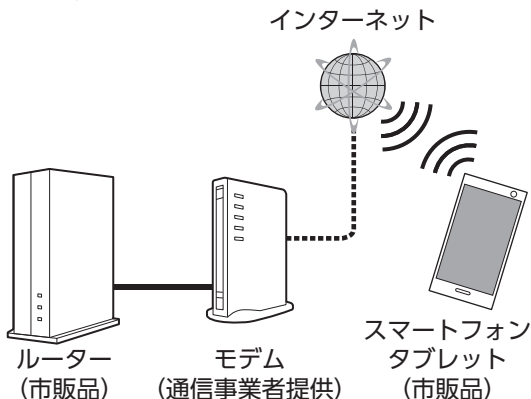
重要

- ステーションモードで本製品を使用するときは、インターネット環境が必要です。
通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- スマートフォンやタブレットは同時に4台まで視聴できます（コンテンツ再生は1台のみ）が、ネットワーク環境によっては接続できなくなったり、カメラ映像の画質が低下したりする場合があります。

インターネット回線に接続する

本製品をインターネット回線に接続するときは、下記の接続機器が必要になります。

インターネット環境およびネットワーク環境によって、接続機器や接続方法は異なります。

**重要**

- 本製品に接続しない無線 LAN ルーターを使用している場合、電波干渉する場合があります。本製品と接続しない無線 LAN 機器はできるだけ離して使用してください。

専用アプリ MiSmart Cam をインストールする

下記の手順にしたがって、スマートフォンまたはタブレットに MiSmart Cam をインストールしてください。

※ MiSmart Cam をインストールできるスマートフォンまたはタブレットは、次のとおりです。

- Android 端末 (Android4.4 以降)
- iPhone および iPad (iOS9.0 以降)



ご使用になるスマートフォンまたはタブレットによって、表示内容または画面デザインなどは、以下の記載内容と異なる場合があります。

1 ストアから「MiSmart Cam」を検索し、インストールする

Android 版 : Google Play

iOS 版* : App Store

※ iPad でご利用の際は、iPhone 用のアプリで検索を行ってください。

インストールが完了すると、「MiSmart Cam」アイコンが作成されます。



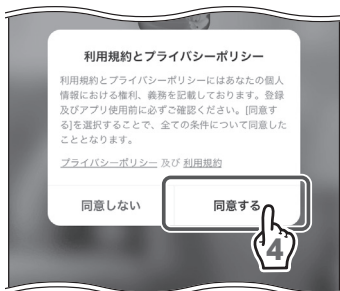
「MiSmart Cam」
アイコン

2 「MiSmart Cam」を開く

3 「登録」をタップする



4 「利用規約とプライバシーポリシー」の内容をよくお読みになり、「同意する」をタップする



5 メールアドレスを入力する

6 「認証コードの取得」をタップする

「同意します」チェックボックスはオフにしないでください。



7 登録したメールアドレスに登録検証コードが届くので確認する

重要

メールが届かない場合

- 入力ミスがないか、登録したメールアドレスを確認してください。
- 迷惑メールとして処理されていないか、確認してください。

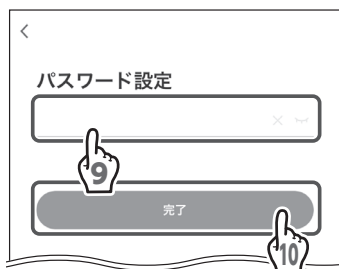


8 認証コード入力画面に戻り、60秒以内に検証コードを入力する



9 パスワードを入力する

パスワードは、記号を含む6～20桁の半角英数字にしてください。設定したパスワードは、忘れないように記録しておいてください。



10 「完了」をタップする

(iOS14以降のみ)

11 「“MiSmart Cam”がローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続を求めています」で「OK」をタップする

(一度「OK」を選択すると、次回以降は表示されません。)

「許可しない」をタップすると、このアプリではローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続を使用できません。

再度許可する場合は、iPhoneおよびiPadでアプリの権限から許可設定を行うか、またはアプリをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。



12 「データへのアクセス」 および 「現在のトレンド」 にチェックを入れるかどうかを選択する

チェックを入れなくても本製品の動作に影響はありません。

13 「アプリを開く」 をタップする

- Android 端末の場合は手順 17 へ進む
- iPhone および iPad の場合は手順 14 へ進む



14 「MiSmart Cam」に位置情報の使用を許可しますか?」で「Appの使用中は許可」をタップする

(一度「Appの使用中は許可」を選択すると、次回以降は表示されません。)

「1度だけ許可」をタップすると、このアプリでは位置情報を1度だけ使用できます。

「許可しない」をタップすると、このアプリでは位置情報を使用できません。

再度許可する場合は、iPhone および iPad でアプリの権限から許可設定を行うか、またはアプリをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。



15 「MiSmart Cam」は通知を送信します。よろしいですか?」で「許可」をタップする

(一度「許可」を選択すると、次回以降は表示されません。)

「許可しない」をタップすると、このアプリでは通知を送信できません。

再度許可する場合は、iPhone および iPad でアプリの権限から許可設定を行うか、またはアプリをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。



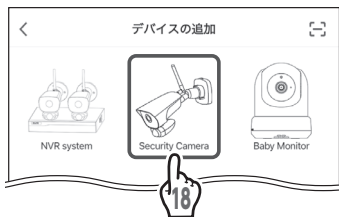
16 「確認」をタップする



17 「デバイスの追加」をタップする




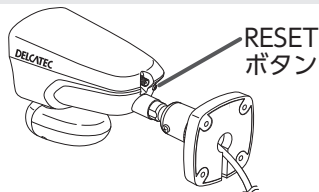
18 「Security Camera」をタップする



19 カメラの電源を入れる (⇒ 15 ページ)

約 50 秒後、電源ランプが点滅を開始し、チャイムが鳴ります。その後、17 秒ごとにアラーム音 (プップツ) が鳴ります。

 カメラを初期化するとき
は、背面にある RESET ボタンを「ピー」と音が出るまで 5 秒以上押ししてください。



20 「次のステップ」にチェックを入れる

21 「次へ」をタップする

- Android 端末の場合は手順 **23** へ進む
- iPhone および iPad の場合は手順 **24** へ進む



22 「このデバイスの位置情報へのアクセスを「MiSmart Cam」に許可しますか？」で「アプリの使用時のみ」をタップする

(一度「アプリの使用時のみ」を選択すると、次回以降は表示されません。)

「今回のみ」をタップすると、このアプリでは位置情報を1度だけ使用できます。

「許可しない」をタップすると、このアプリでは位置情報を使用できません。

再度許可する場合は、Android端末でアプリの権限から許可設定を行うか、またはアプリをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。

23 「デバイスをルーターに接続してください」でルーターを選択してパスワードを入力する

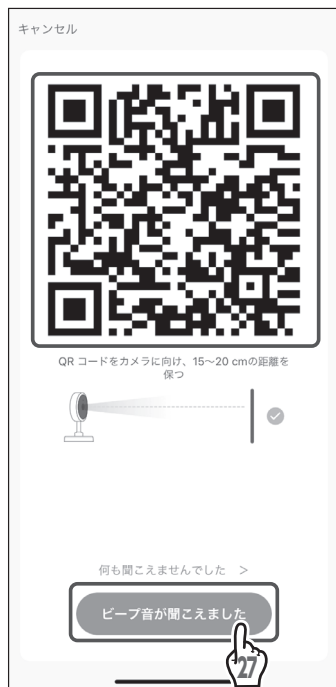
本製品をインターネット接続されたルーターに接続してください。

24 「次へ」をタップする



25 表示された QR コードをカメラのレンズに向け、15～20cmの距離を保つ

26 ビープ音が鳴ったら、「ビープ音が聞こえました」をタップする
「デバイスの追加中」と表示されます。



27 デバイスの追加が成功すると、「デバイス追加に成功しました」と表示される

28 「完了」をタップする
ライブビュー画面 (→ 28 ページ) が表示されます。



「デバイスのインストールがタイムアウトしました」と表示され、デバイスの追加ができなかったときは、「もう一度やり直してください」をタップしてください。
背面にある RESET ボタンを 5 秒以上押し、手順 21 からやり直してください。

ライブビュー画面

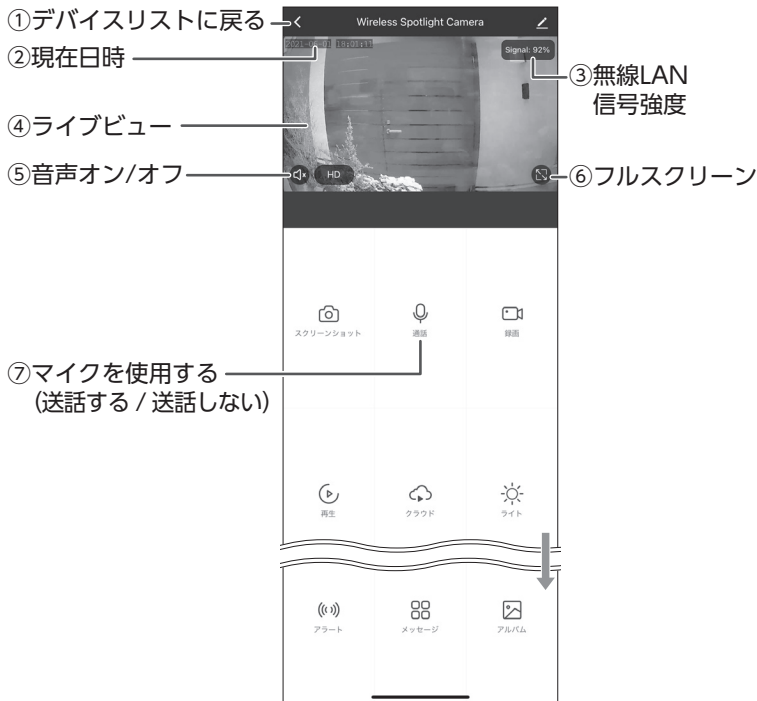
下記のライブビュー画面がオンラインになっているときは、カメラ映像が表示されます。

このアプリを再起動すると、前回表示していたデバイスのリストが表示されます。

重要 映像を遠隔で視聴する際は、2Mbpsのビットレートで動画映像を配信します。

デバイス側では、上りスピード 5Mbps (実測値) 以上を確保できる通信事業者サービスを、視聴側 (スマートフォンやタブレット) では、下りスピード 5Mbps (実測値) 以上を確保できる通信事業者サービスを推奨します。

※安定した遠隔監視をするため、映像配信・視聴中は別インターネットサービスの使用を控えることをお勧めします。



① デバイスリストに戻る

タップすると、デバイスリスト画面が表示されます。

② 現在日時

現在の日付と時刻を示します。

③ 無線 LAN 信号強度

スマートフォンやタブレットが受信している信号の強さを示します。
信号強度が 40% 以下の場合、映像が途切れる場合があります。

④ ライブビュー

カメラ映像が表示されます。

⑤ 音声オン / オフ

タップするたびにマイクの音声を ON または OFF に切り替えます。

⑥ フルスクリーン

タップすると、ライブビューをフルスクリーンモードで表示します。

⑦ マイクを使用する (送話する / 送話しない)

タップするたびにスマートフォンやタブレットからカメラに音声を送話するまたは送話しないに切り替えます。🎤 (マイク) が青色に表示されているときにカメラに音声を送話します。

※システム音もマイクで送話されます。

設置する前に

カメラ設置の注意点

- 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると、誤動作する原因となります。
- カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像がスマートフォンやタブレットに表示されるか、MiSmart Cam の無線 LAN の信号強度が 40% 以上になっていることを確認してください。その際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。
- 設置の際は、直射日光や街灯などの光が直接当たって高温になることを避けるため、またレンズへの雨水付着を防ぐため、軒下などに設置することをお勧めします。
- 周辺に 2.4GHz 帯の電波を発生させる機器（ルーターやコードレスホンなど）がある場合、誤動作を起こすことがありますので、離してください。

カメラを設置するときは、電波到達距離や動体検知範囲に注意して取り付けてください。詳細は、下記の「電波到達距離について」および「動体検知について」(➡31 ページ)を確認してください。

電波到達距離について

屋外にカメラを設置する場合は、構造によって電波到達距離が変わります。木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は、次のとおりです。

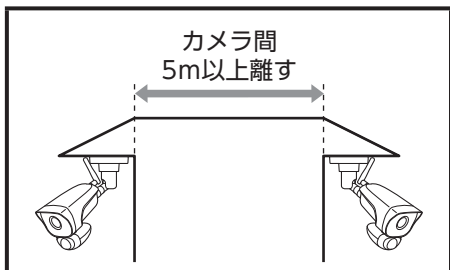
木造	鉄骨	鉄筋コンクリート構造
約 20 ~ 40m	約 10 ~ 20m	約 5 ~ 10m



設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。また、電波が届かない場合や映像が途切れる場合は、アンテナの角度を調整するか、スマートフォンやタブレットの位置を移動することで、改善する場合があります。

カメラの距離について

隣接するカメラ同士は、カメラ間の電波干渉を防止するため、設置距離を5m以上離してください。



カメラ間の距離5mの途中に、ルーターなどの無線LAN機器がある場合は、電波が安定しない場合があります。無線LAN機器からも離してください（本製品と接続するルーターを除く）。

人感センサーについて

設置場所によっては、誤動作などの原因となりますので、以降に気を付けて設置場所を検討してください。設置前に設置したい場所に仮固定し、事前に確認してください。

検知しない | 取付場所を変更してください

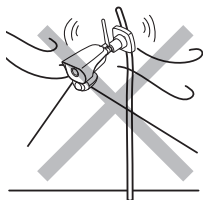
検知エリア内に障害物がある（植木、ガラスなど） ※点線部は検知しません。



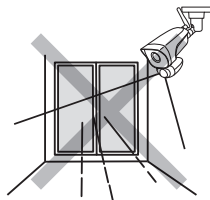
誤動作する

センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所またはカメラの向きを変更してください。

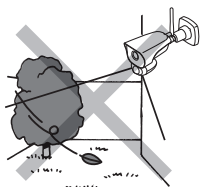
不安定なポールや壁面に取付
(検知エリアが定まらない)



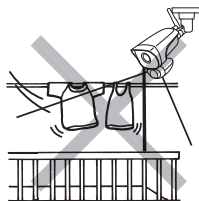
検知エリアが窓に向いている



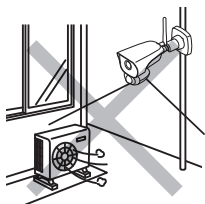
検知エリアが木に向いている
(風で木が揺れるため)



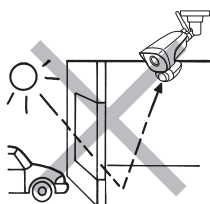
検知エリア内に洗濯物がある
(風で洗濯物が揺れるため)



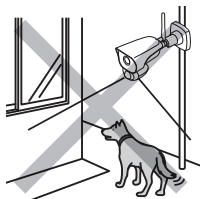
検知エリア内で急激な温度変化がある
(エアコンの室外機、水、湯気、油、
すきま風など)



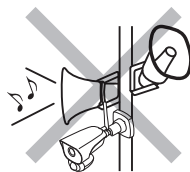
直射光、反射光が当たる
(太陽の反射光、夜間の自動車のヘッ
ドライト、街路灯など)



検知エリア内に動くものがある
(カーテン、猫、犬、自動車など)



強い振動、電気ノイズの影響を受けや
すい



●人感センサーの検知範囲

- 人感センサーは赤外線センサー周囲の温度変化を検知する機能です。(PIR：パッシブインフラレッド方式)
- カメラの人感センサー (PIR センサー) の検知範囲 (距離：最大約 8m、検知角：水平 90°、垂直 60°) で動体や熱の動きがあった場合、録画を開始します。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、上下左右方向の動きを検知しやすい特徴があり、センサーに対して人が正面から近づく動きや検知範囲の温度変化が小さい場合は、検知しにくい場合があります。
- センサーは熱の変化に反応するため、熱くなる場所への設置は避けてください。
- 周囲の温度と人体の温度差を検知するために、周囲の温度と体温の差が小さい場合や服装によって検知範囲は異なります。また、犬や猫などの動物、直射日光、エアコンやポットなどの熱源に対して検知する場合があります。

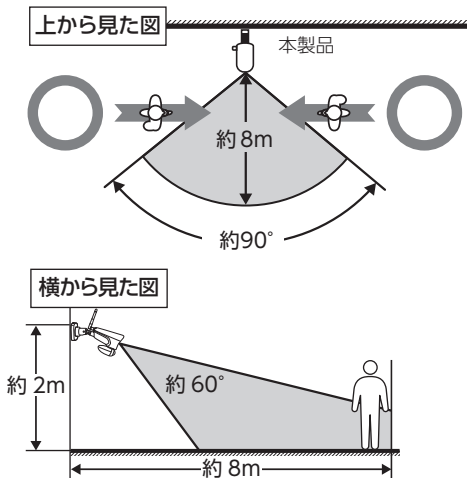
重要

- 人感センサーの前に物を置いたり、検知範囲内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなつたり、誤動作する原因となります。

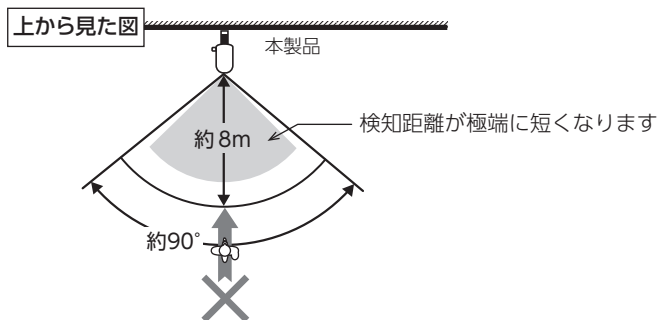
- カメラの高さが下図(横から見た図)よりも低い位置などに設置した場合、検知エリアが狭くなります。センサーの反応範囲とカメラの映像を見ながら設置する角度の確認をお願いします。

■ 2 mの高さに設置した場合

- 横切るように侵入する場合



- 正面から近づく場合



カメラ設置の確認事項

電波受信状況が安定しない状態

- MiSmart Cam の無線 LAN の信号強度が 40% 以下

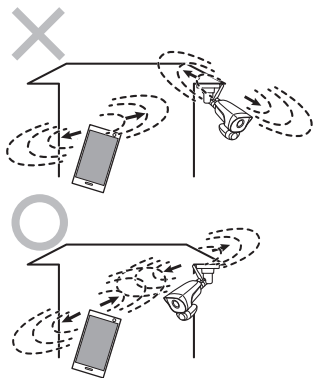
カメラの向き、スマートフォンやタブレットの位置を変えることで、電波受信状況が改善する場合があります。

信号受信状況は、MiSmart Cam の無線 LAN の信号強度が 40% 以上あることを確認してください

設置する場所付近で無線 LAN など、2.4 GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、信号受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

MiSmart Cam の無線 LAN の信号強度が 40% 以上ないときは、カメラを移動して信号受信状況が改善する場所をさがしてください。

カメラを移動できないときは、スマートフォンやタブレットを移動しながら信号受信状況が改善する場所をさがしてください。




カメラを設置する

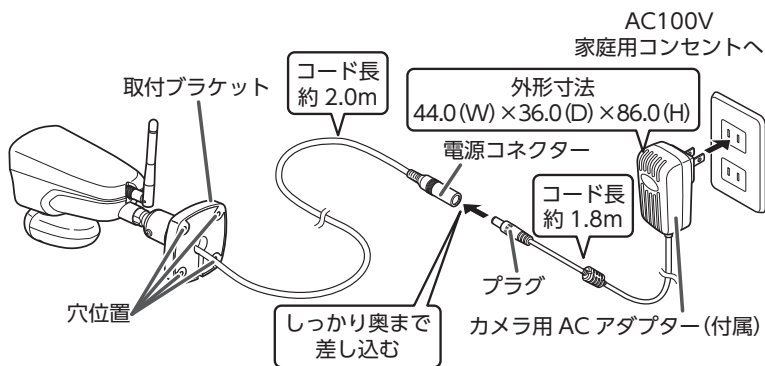
カメラの寸法を確認して設置場所を決める

カメラを固定する前に、「設置する前に」(⇒30 ページ)を必ず確認してください。

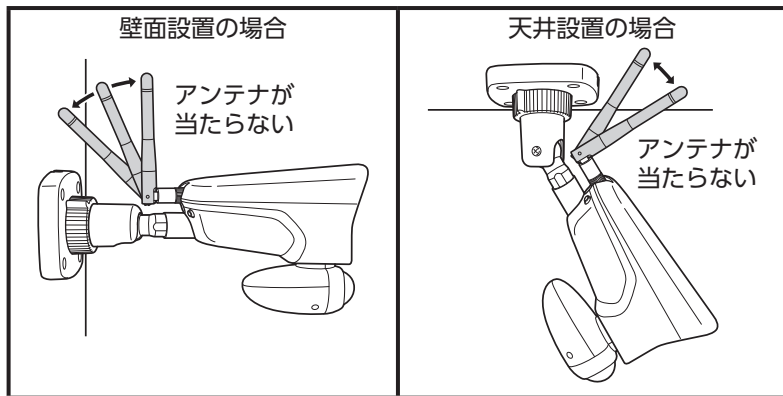
設置場所で事前にスマートフォンやタブレットに映像が表示されることを確認してください。

重要 カメラの周囲が暗い場合、照度センサーが働き、自動で夜間撮影モードに切り替わります(映像は白黒になります)。周囲が明るくなると夜間撮影モードは自動で終了します。

 取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置(4か所)に合わせてペンなどでマーキングしておきます。



外形寸法からアンテナの高さを考慮し、アンテナが壁や天井に当たらないように設置してください。



重要 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁がある場所にネジがかかるように設置してください。

カメラを設置する

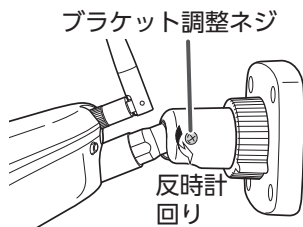
必要に応じて調整リング、ブラケット調整ネジを緩めて、カメラの角度と方向を調整します。

1 カメラの各部を緩める

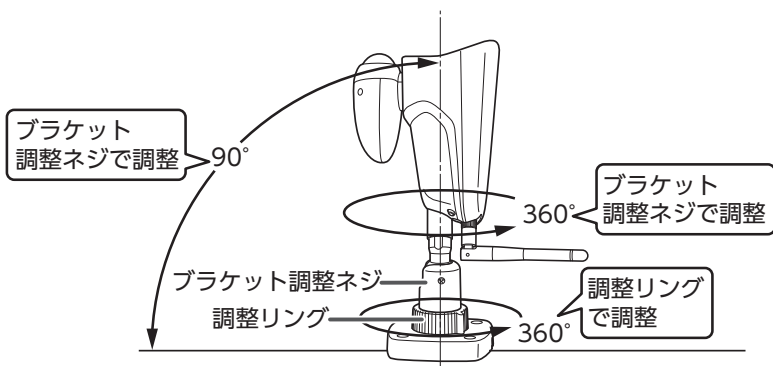
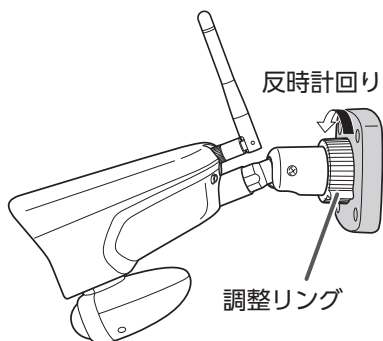
- ① ブラケット調整ネジをいったん反時計回りに回して緩める
ブラケット調整ネジはプラスドライバーで緩めて仮固定してください。

重要

- ペンチなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。
- カメラの可動範囲は次のとおりです。可動範囲以上に曲げないでください。カメラが破損する恐れがあります。




- ② 調整リングを反時計回りに
1～2 回程度回して緩める

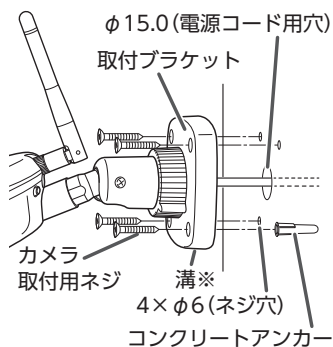


2 取付ブラケットを設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ 4 本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

重要 カメラ取付用ネジは強く締めすぎないでください。

 コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所にφ6mm 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。



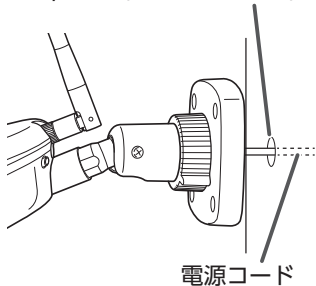
※：溝は下に向くように取り付けてください。

電源コードの処理について

•設置面を通す場合

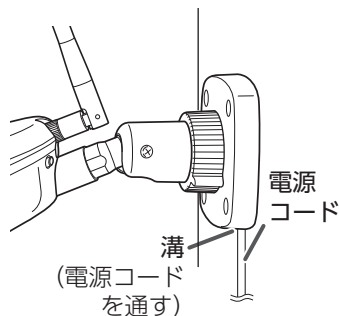
ブラケット位置の中心に
 ϕ 15mm 程度の穴をあけて
配線を通します。

ϕ 15.0 (電源コード用穴)

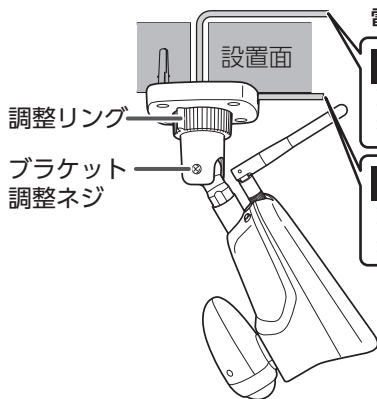


•設置面を通さない場合

ブラケット裏面にある溝
(1 か所) に配線を通します。



3 カメラ用 AC アダプターを差し込み、MiSmart Cam で映像を確認しながら最適なカメラの角度と方向を調整する



電源コードの処理

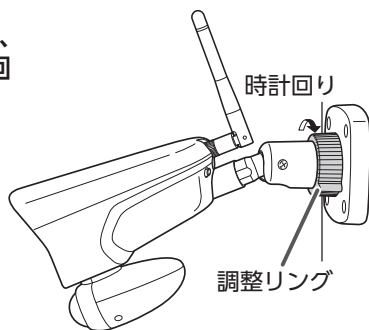
設置面を通す場合

取付ブラケット位置の中心に ϕ 15mm 程度の穴をあけて配線を通します。

設置面を通さない場合

取付ブラケット裏面にある溝に配線を通します。

4 カメラが動かないようにして、調整リングのみを時計回りに回して固定する

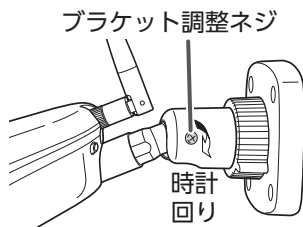


5 ブラケット調整ネジを回してカメラの角度を固定する

ブラケット調整ネジはプラスドライバーで締め付けてください。

重要

- ブラケット調整ネジを締めるときは、ブラケット調整ネジを奥まで差し込んで、締め付けてください。
- ペンチなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。



6 カメラ設置後の映像と電波強度を確認する

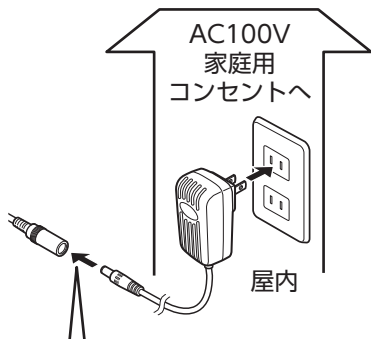
カメラを設置したあとは、映像が表示されることおよび MiSmart Cam の無線 LAN の信号強度が 40% 以上になっていることを確認してください。

無線 LAN の信号強度が 40% 以上になっていないときは、「設置する前に」 (➡ 30 ページ) で設置状況を確認してください。

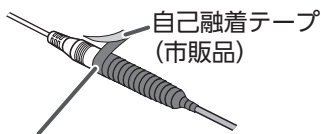
●防水処理について

屋外に設置する場合は、必ず自己融着テープまたは防水ケースを使用し、防水処理を行ってください。

自己融着テープを使用する場合

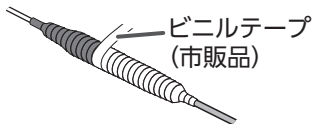


- 1 自己融着テープ（市販品）は、長さ1.5倍に引張りながら巻き付けます。巻き終わったら指でおさえて密着してください。

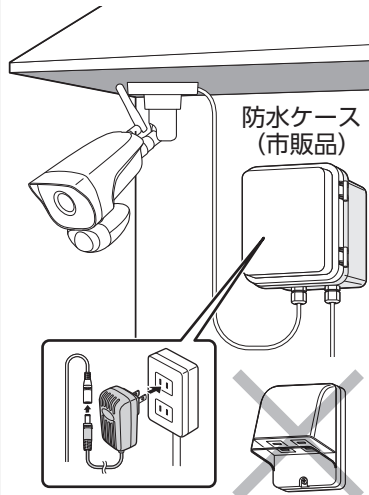


テープの幅の1/2が重なるように巻く

- 2 その上に、ビニルテープ（市販品）をすき間のないように巻き付けます。




防水ケースを使用する場合



屋外用コンセントには設置できません

故障と判断する前に

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が表示されない	カメラの AC アダプターが抜けていませんか?	➔ 15 ページ
	カメラの電源ランプは点灯していますか?	➔ 14 ページ
	カメラの電波状態が悪くありませんか?	➔ 30 ページ ➔ 35 ページ
センサーライトが点灯しない	周囲が明るい、または外灯などの光が入っていませんか? ・動体検知で点灯する場合、周辺環境が暗くなければ点灯しません。 ・光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが働かず、点灯しない場合があります。	—
センサーライトが消灯しない	カメラ周辺に検知している対象物はありませんか?	—
	カメラの電波状態が悪くありませんか?	➔ 30 ページ ➔ 35 ページ
マイクの音が聞こえない	音量が  (OFF) になっていませんか?	➔ 28 ページ
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
映像がコマ送りになる	無線 LAN の受信強度が 40% 以下になっていませんか?	➔ 35 ページ
検知モードが動作しない	検知対象 (人や物) までの距離が長くなっていませんか?	➔ 33 ページ
	カメラの電源ランプは点灯していますか?	➔ 14 ページ
	周囲温度は高くなっていませんか?	—
再生できない	録画ファイルは保存されていますか?	➔ 28 ページ

症状	確認内容	ページ
受信状況が頻繁に悪くなる	雨や雪が降っていませんか？	—
	次のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣に電波塔や工場等がある ・ カメラのそばで電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）を使用している 	➔ 11 ページ
	扉を開けている状態で設置後、扉を閉めていませんか？	
	カメラの周囲に遮へい物や反射物などがありますか？	➔ 30 ページ
夜間撮影時、映像が何も映らない、または真っ暗な状態のままになる	夜間、外灯などの光が入っていませんか？ 光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが動かず、夜間撮影モードに切り替わらない場合があります。	—
昼間でも映像が白黒になる	カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを検知し、自動的に夜間撮影モード（白黒映像）に切り替えています。	—
	設置場所やカメラの向きを変えるなど、周辺環境が明るくなるようにしてください。	—
夜間撮影時、雪が降ったような映像になる	空気中のほこりやチリなどが赤外線 LED の光を反射するためで故障ではありません。	—
スマートフォンにカメラが登録できない	カメラの電源は入っていますか？	➔ 15 ページ
専用アプリを検索できない	検索キーワードの入力に間違いありませんか？	➔ 19 ページ
	iPad の場合、iPhone 用アプリで検索していますか？	➔ 19 ページ

症状	確認内容	ページ
スマートフォンやタブレットに映像が表示されない	インターネット回線に接続していますか？ スマートフォンやタブレットが接続できていますか？ <ul style="list-style-type: none">• MiSmart Cam を再起動してください。• 通信速度が遅いまたは回線が混み合っている場合があります。時間をあけて再度接続してください。• スマートフォンやタブレットのキャッシュのクリアを行ってください。 (MiSmart Cam から「プロフィール」→「設定」→「キャッシュの削除」を行ってください)• カメラ本体の電源を入れなおしてください。	→ 17 ページ
スマートフォンやタブレットに通知がこない	スマートフォンやタブレットの通知設定を ON にしていますか？	—

メンテナンス、別売品

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

- 本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないでください。
- レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- AC アダプターは、必ず付属の専用 AC アダプターを使用してください。

仕様

仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

無線通信部

項目	規格
対応無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n, 1T1R
通信周波数 / 変調方式	2.4GHz / 11b: DSSS, 11g/n: OFDM
伝送レート	11b: 11Mbps, 11g: 54Mbps, 11n: up to 150Mbps
映像方式	H.264
見通し通信距離	最大 250m (遮蔽物や妨害電波のない環境での通信可能距離) (➡ 30 ページ)

カメラ

項目	規格	
画素数	200万画素 (H:1920, V:1080ピクセル)	
イメージセンサー	1/2.9インチ CMOS センサー	
撮影距離	約 0.18m ~ ∞	
視野角	左右 102° / 上下 55°	
人感検知距離 / 角度	最大約 8m / 左右 90° / 上下 60°	
センサーライト	白色 LED	500(全光束)lm
	白色 LED 光量調整	100 段階 (1 ~ 100%)
	点灯モード	手動 / 動体検知 点灯時間: オフ / 1 ~ 10 分
赤外線投光距離	12m	
最低被写体照度	IR LED 点灯時: 0lx	
録画解像度	Full HD(1920 × 1080)	
録画モード	イベント / スケジュール※ / 連続	
録画上書き	常時録画上書き (設定変更不可)	
内蔵ストレージ	128GB (録画可能容量: 116GB)	
ファームウェアアップデート	ネットワーク対応	
消費電力(白色LED点灯時)	最大 10.8W(DC9V/1.2A)	
スピーカー	1 個	
内蔵マイク	1 個	
インジケータ	緑色 LED 1 個	
使用温度範囲	-10 ~ +50°C	
防雨・気密性	IP66	
外形寸法	W82 × H98 × D210mm(アンテナ部を除く)	
質量	約 0.55kg	

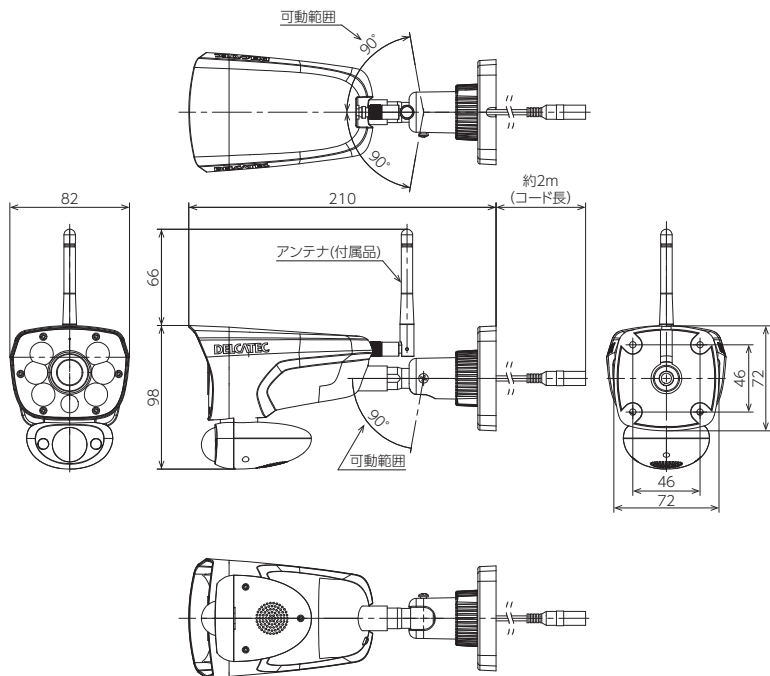
※: スケジュール録画については、「専用アプリ MiSmart Cam」の取扱説明書を参照してください。

スマートフォン / タブレット用アプリケーション

項目	規格
対応 OS	iOS9.0 以降 Android4.4 以降
専用アプリ	MiSmart Cam

外形寸法図

カメラ



単位：mm

本製品を廃棄するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

はじめに

準備

設置

その他

製品に関する
お困りごとを解決!

Dサポ!
DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる⇒



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
[1015] QRコードからアクセスしてください。

保証書

● 無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買上げ後の取り付け場所の移送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧・周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩滅などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型 番 CWE1CBD1		お買上年月日 年 月 日	保証期間 お買上日から 1 年 間
ご住所・ご店名 ご販売店		お名前 フリガナ 社 客 様 ご住所	様 電話 ()
電話 ()			

*本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター
[土・祝日もご利用ください!]



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。(1908)
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社
6094-3

■受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合:050-3818-9016

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>